

平成29年度 事業計画

(平成29年4月1日～平成30年3月31日)



のぞみ

社会福祉法人 希望

**平成 29 年度 社会福祉法人希望
事業計画**

《 目 次 》

1. 平成 29 年度 事業計画

1) 法人

<input type="checkbox"/> 基本理念・方針	1
<input type="checkbox"/> 平成 29 年度スローガン	2
<input type="checkbox"/> 重点目標	3
<input type="checkbox"/> 事業内容、拠点区分	5
<input type="checkbox"/> 年間スケジュール	7
2) のぞみ居宅介護支援事業所	
<input type="checkbox"/> 目標・背景・実施要領	9
<input type="checkbox"/> 収入予測	10
3) のぞみ訪問看護ステーション	
<input type="checkbox"/> 目標・背景・実施要領	11
<input type="checkbox"/> 収入予測	12
4) のぞみヘルパーステーション	
<input type="checkbox"/> 目標・背景・実施要領	13
<input type="checkbox"/> 収入予測	14
5) デイサービスセンターほのぼの	
<input type="checkbox"/> 目標・背景・実施要領	15
<input type="checkbox"/> 収入予測	16
6) 有料老人ホーム 二の郷	
<input type="checkbox"/> 目標・背景・実施要領	17
<input type="checkbox"/> 収入予測	18
7) 福祉輸送事業(介護タクシー)	
<input type="checkbox"/> 目標・背景・実施要領	19
<input type="checkbox"/> 収入予測	20
8) 障がい福祉サービスゆみと	
<input type="checkbox"/> 目標・背景・実施要領	21
<input type="checkbox"/> 収入予測	22
9) 放課後等デイサービスのぞみ	
<input type="checkbox"/> 目標・背景・実施要領	23
<input type="checkbox"/> 収入予測	24
<input type="checkbox"/> 各種委員会	25
<input type="checkbox"/> 研修計画、職員教育	26

1. 法人

基本理念及び方針

基本理念

私たちは、利用者一人ひとりの“のぞみ”をかなえ、常に学び、利用者の人権を守り、安心して自立した生活が出来るサービスを提供します。

方針

1. 常に、お互いに守り支えあえる心を大切にします。
2. 常に、感謝の心とコミュニケーションを大切にします。
3. 常に、利用者に見配り・気配り・心配りをします。
4. 常に、地域との連携を大切にします。
5. 常に、利用者のために学びそれを活かします。

協 心 努 力

～ “のぞみ”をかなえるために ～

はじめに

平成 28 年度は、新規に障害福祉サービス事業に取り組み、介護保険事業と障害福祉サービス事業の両輪で事業の安定化を図って参りましたが、介護保険制度の改正の余波や介護人材不足の影響等により、法人の資質を試された1年でもありました。

そのような中でも、向こう 10 年を見据え、『社員教育』の注力と新卒及び第二新卒職員の採用等による新戦力の育成により、組織に新たな活力が生まれました。

また、法人として地域の皆様にご協力を得ながら、地域貢献活動を実践することが出来ました。

平成 29 年度は、社会福祉法等の一部改正や日常生活支援総合事業の施行等があり、地域での社会福祉法人のあり方や介護保険制度の取り巻く環境が更に変化すると予想されています。

この環境変化に対応すべく、放課後等デイサービス事業開始や障害福祉サービス事業の充実、介護保険事業運営方法の見直しを図り、さらに効率的な運営と事業の安定化をめざし、介護人材の確保や働きやすい職場づくりを行うとともに、職員一同、基本理念に立ち返り、その本質に照らして、自らが行動していきます。

地域の“のぞみ”をかなえるために、地域福祉の担い手として高齢者、障害者、子ども等が安心して暮らせる社会を目指し、地域の人々に愛される法人を目指して参ります。

重点目標

I. 法人体制の強化

法人の安定的な運営を行うため、組織及び体制を見直し、法人の運営体制、管理体制を構築します。

i. 規程・規則類の整備・見直し

法人運営に必要な規程・規則類の整備及び見直しを行います。

ii. 中長期計画、中期計画の策定

中長期・中期で法人の将来像を見据え、安定した経営を構築するため、計画の策定を行います。

iii. 運営及び経営指標の整備

事業運営や経営に必要な指標の整備を行います。

II. サービスの充実と促進

i. 利用者の拡充

サービス基盤を強化するため、利用者の拡充を行います。

ii. ニーズに応じた多様なサービスの充実

ニーズに応じるためサービスの選択肢を広げ、充実を図ります。

iii. 法人及び事業所の広報活動

地域に愛され、選ばれる事業所になるため、法人や事業所の活動状況を広報していきます。

iv. 施設整備計画の策定

中長期計画を鑑みながら、修繕等を踏まえた施設整備計画を策定していきます。

III. 地域貢献事業

i. 地域住民との交流活動

のぞみ祭り等の地域貢献活動を通じ、地域住民の福祉増進につなげていきます。

ii. ユニバーサル（障害者等）雇用の促進

働きたくても働けない方々の社会参加を促すために、ユニバーサル雇用を促進していきます。

iv. 人材の育成

i. 職員の資質の向上

a) 研修の充実

ひとり一研修を必須に、職員の資質向上を図っていきます。

ii. キャリアアップシステムの運営と次世代リーダーの育成

キャリアアップシステムを運営し、職員一人ひとりが、目標管理を行い、自分

の将来像に近づけます。また、次世代リーダーの育成を図ります。

v. 働きやすい職場づくり

i. ワークライフバランス（職務分担と職務期限）

職務の分担や期限を設け、自分らしい働き方を選択できるように推進していきます。

事業内容

1. 第2種社会福祉事業

- ・老人居宅介護事業(訪問介護・介護予防訪問介護)：のぞみヘルパーステーション
- ・老人デイサービス事業(通所介護・介護予防通所介護)：デイサービスセンターほのぼの
- ・障害福祉サービス事業の経営(就労継続支援B型、就労継続支援A型、就労移行支援)：障がい者福祉サービスゆみと
- ・特定相談支援事業の経営、一般相談支援事業の経営(相談支援)：ゆみと 相談支援センター
- ・障害児通所支援事業の経営(放課後等デイサービス)：放課後等デイサービスのぞみ
- ・障害児相談支援事業の経営(障害児相談支援)：ゆみと 相談支援センター

2. 公益事業

- ・居宅介護支援事業：のぞみ居宅介護支援事業所
- ・訪問看護事業：のぞみ訪問看護ステーション
- ・有料老人ホーム運営事業：有料老人ホーム二の郷
- ・一般乗用旅客自動車運送事業(福祉輸送事業限定)：福祉輸送事業部(通称：のぞみ介護タクシー)

3. 法人本部事業

4. その他

拠点区分

1. のぞみケアセンター拠点区分

- ・のぞみヘルパーステーション
- ・のぞみ訪問看護ステーション
- ・のぞみ居宅介護支援事業所
- ・福祉輸送事業部(通称：のぞみ介護タクシー)

2. デイサービスセンターほのぼの拠点区分

- ・デイサービスセンターほのぼの

3. 有料老人ホーム二の郷拠点区分

- ・ 有料老人ホーム二の郷

4. 障がい者福祉サービスゆみと拠点区分

- ・ 就労継続支援B型
- ・ 就労継続支援A型
- ・ 就労移行支援
- ・ 相談支援センター
- ・ 放課後等デイサービスのぞみ
- ・ 障害児相談支援

2) のぞみ居宅介護支援事業所

(1) 目標、実施要領

《目 標》

認知症があっても安心して住み慣れた自宅での生活を送れるように支援します。

(目標の背景)

認知症になっても、住み慣れた地域の支え合いがあれば、自宅での生活が安心して継続出来る環境を整えていく必要があります。その為にも地域住民に認知症の理解が深まり、互いに支え合える地域づくりを支援していきたいと思えます。

(実施要領)

① サービスの充実と促進

- ア. 認知症に対する理解を深め、個々の状況下に合わせた支援を行います。
- イ. 主治医・訪問看護師及び他職種との連携を取り迅速な対応を行います。
- ウ. 事業所内で週1回の伝達会議の開催や年1回満足度調査、自己評価を実施しニーズの把握や自身の振り返りを行います。

② 地域貢献と人材育成・広報活動

- ア. 認知症サポーター社内研修会を研修企画委員会と協力し実施します。
- イ. 認知症サポーターキャラバン隊と連携し、町内での学習会が数年後実施できる体制準備を開始します。
- ウ. 次世代リーダー育成の為法人キャリアアップシステムを活用します。
- エ. 介護支援専門員実務実習生の受け入れを積極的に行い人材確保に繋がります。
- オ. 各団体の役員会、委員会、地域行事等に積極的に参加し、地域の方々と顔馴染みの関係を構築し、法人の知名度アップや実施している事業内容をアピールします。

(2) 収入予測

平成 29 年度収入予測 1,5095,960 円

介護保険利用者 目標人数 95 名

3) のぞみ訪問看護ステーション

(1) 目標、実施要領

《 目 標 》

利用者が安心して在宅生活を送ることができるよう看護ケアを提供します。

(目標の背景)

高齢者が急速に増加する2025年の間に地域包括システムの構築を目指していることから、今後三沢においても在宅医療を推進する方向にあります。住み慣れた環境で、かかりつけ医との連携を密にしながら、利用者・家族が安心した生活が送れるよう支援して行きたいと思います。

(実施要領)

① サービスの充実と促進

ア. 医療を必要とする利用者・家族の支援

・認知症に対する理解を深め、適切なケアが出来るよう、他職種との連携を密にしながら支援します。

イ. 在宅医療が増えて行くことに備え、その人らしい終末期が送れるよう知識を深め支援します。

② 人材の育成

ア. 定期的な勉強会の開催や外部研修に参加し（特に認知症、家族との関わりなど）知識を深め実施出来るようにします。

・新しい医療機器や薬剤の知識、看護技術など深めるために県内外研修に参加しスキルアップを図ります。

③ その他

・青森県立保健大学の実習学生の受け入れを継続し、在宅生活における訪問看護の役割を指導します。

(2) 収入予測

平成 29 年度収入予測	<u>43,627,000</u>	円
介護保険利用者 目標人数	<u>40</u>	名
医療保険利用者 目標人数	<u>11</u>	名

4) のぞみヘルパーステーション

(1) 目標、実施要領

《目 標》

介護職としての自覚を持ち、専門性を発揮した知識とケアで柔軟で良質なサービスを提供します。

(目標の背景)

利用者一人ひとりのニーズに合ったサービスの提供を行ない、改正による変化にも対応できる知識、技術を向上する必要があります。

介護技術の標準化と計画的なOJTの推進で「できる力」と「わかる力」を向上し、今後の制度改正の動向に合わせたサービス展開を見込み、訪問介護員の意識統一を図り、利用者から選んでもらえる事業所を目指していきたいと思います。

(実施要領)

① サービスの充実と促進

- ア. 介護保険外サービスの展開で介護保険に依存しない体制づくりを行います。
- イ. 報連相を徹底し、ケアマネ、他職種、関係機関との緊密な連携を強化します。
- ウ. 今後の介護保険の動向や情報収集に努め、多様化する複雑なニーズに対応できる柔軟な発想を養います。
- エ. 利用者の安心感とニーズを尊重したサービス提供の為、ヘルパー担当制での対応を行います。

② 人材育成・広報活動

- ア. 介護プロフェッショナルキャリア段位制度導入により介護技術の標準化を目指します。
- イ. キャリアパス体制を明確にし、職員定着率の向上を図ります。
- ウ. 目標管理と連動した研修システムを実施します。
- エ. 介護実習生の受け入れや学校訪問等を積極的に行ない人材確保につなげます。

(2) 収入予測

平成 29 年度収入予測 53,962,518 円

介護保険利用者 目標人数 45 名

予防介護保険利用者 目標人数 5 名

5) デイサービスセンターほのぼの

(1) 目標、実施要項

《目標》

利用者の生活や心身の状況を深く理解し、その人らしい生き方を追求した自立支援を目指し、利用者及び家族のニーズに応じ、地域と寄り添い信頼されるサービスを提供します。

(目標の背景)

今年度は、日常生活支援総合事業による総合的なサービスを実施することから、より個々の利用者及び家族ニーズに対応する運動機能や生活機能の維持・向上に努めていかなければなりません。そのためには、機能訓練やレクリエーション等を通じ、楽しみながら、利用者の意欲を促進するサービスを提供し、満足度を高めていきたいと思えます。

(実施要項)

① サービスの質の向上

- ア.利用者一人ひとりのニーズ及び心身の状態を的確に把握し、地域での暮らしを支える支援を行います。
- イ.個々に応じた自立支援をめざし、在宅生活が継続できるようサービスの展開及び質の向上に努めます。
- ウ.個別機能訓練、集団体操、レクリエーション等を通じ、心身機能の維持向上、意欲・満足増進できる支援を行います。

② 職員の資質向上と人材の育成

- ア.個人の研修目標を設定し、研修に積極的に参加し知識及び技術の習得に努めます。
- イ.資格取得を支援します。
- ウ.サービス自己評価を実施し、職員の意識を高め資質の向上を図ります。

③ 地域ニーズに即した事業の推進

- ア.地域包括支援センターや居宅介護支援事業所等他機関との情報共有、連携を密にし、地域のニーズに対応したサービスを柔軟に提供します。

- イ. 地域の方々が参加できる行事を開催し、ほのぼのを知って頂く機会とします。
- ウ. 地域のボランティアを積極的に取り入れ、社会資源の掘り起こしと活用で利用者に様々なサービスを提供します。

④ 経営基盤の安定化

- ア. 稼働率75パーセント以上を目標に在宅高齢者の利用を促進するとともに、二の郷と連携し強化を図ります。
- イ. 在宅高齢者のニーズを把握し、柔軟な対応を行うことで利用者の促進を図ります。
- ウ. 個浴サービス・個別機能訓練の利点を活かした利用者の促進を図ります。
- エ. 月1回、他事業への挨拶まわりをおこない情報交換活動を実施し、関係機関との連携を図りながら、デイサービスの新規利用者の促進につなげます。
- オ. 介護予防の利用者を積極的に受け入れ、活躍の場及び楽しめる場としてアクティビティの充実を図りながら、新規利用者の促進につなげます。

(2) 収入予測

平成 29 年度収入予測	<u>58,942,800 円</u>
介護保険利用者 目標人数	<u>58 名(目標延人数 : 525 名/1 ヶ月)</u>
予防介護保険利用者 目標人数	<u>8 名(目標延べ人数)</u>

6) 有料老人ホーム二の郷

(1) 目標、実施要領

《目 標》

利用者一人ひとりに適合した生活環境の整備及び改善を継続的に実施するとともに、入居率の向上に努めます。

また、関連職員が働きやすい勤務環境を維持し、あわせて非常事態対処態勢を保持し非常時に備えます。

(目標の背景)

法人理念に基づき、利用者一人ひとりの希望を叶えるため、利用者の年齢、性別、介護度、状態、心情等に応じた自立支援が適正に実施できる環境を維持向上させます。

これに伴い、職員が働きやすい環境を併せて整備します。

また、昨年の、台風による死亡事案や障害者施設における殺人事件等を受け策定した「非常事態対処計画」に基づく態勢及び訓練を更に充実させます。

なお、入居率の低下は敏感に経営を圧迫するため、入居率の向上に積極的に努めます。

(実施要領)

① 利用者に適合した生活環境

- ・笑顔で挨拶を基本とし明るい雰囲気を維持します。
- ・利用者のニーズに対応できるようコミュニケーションに留意します。
- ・ご家族との意思疎通に留意します。
- ・レクリエーションを定期的の実施します。
- ・清潔さの維持、温度・湿度管理、換気管理等を適切に実施します。
- ・建物、備品等の不具合個所の修復または必要な改善を実施します。

② 関連職員が働きやすい勤務環境

- ・利用者のニーズに通ずる職員のニーズを把握します。

- ・効率的な自立支援を実現する機能的な勤務環境を維持します。
- ・職員相互の意思疎通態勢を維持します。

③ 非常事態対処態勢

- ・災害等発生時において適切に対応できる態勢を維持します。
- ・災害等発生時において必要な備品及び備蓄品を逐次整備します。
- ・防犯意識を向上させ、面会者の把握及び施錠等を徹底します。
- ・緊急事態を想定した教育・訓練を実施します。
- ・関連器材・設備の点検及び不具合修復を実施します。
- ・感染症等発生時において適切に対応できる態勢を維持します。

④ 入居率の向上

- ・入居希望情報の収集します。
- ・行政、病院、他法人、他事業所等との連携を図ります。

⑤ その他

- ・共用場所及び浴場等の外注清掃を中期的計画により実施します。
- ・個人情報の保護を確実に実施します。
- ・苦情対応を適切に実施します。

(2) 収入予測

平成 29 年度収入予測 28,704,000 円

入居者 目標人数 25 名

7)福祉輸送事業（介護タクシー）

（1）目標、実施要領

《目 標》

地域における通院・外出の手段として、安心・安全に移動できるよう支援していきます。

（目標の背景）

地域に住む高齢者・障がい者等の移動困難者が地域に外出の手段として、利用できる移動交通手段が必要です。

そのためには、確かな運転技術と介護技術と真心をもって、安心・安全に移動できるよう支援していかなければなりません。

本年度は、安心安全を第一に、利用者確保に努めて参ります。

（実施要領）

① 交通事故ゼロを目指します。

ア.安全教育や定期的な車両整備を行います。

イ.危険個所を予測し、安全運転に心がけます。

ウ.長時間運転にならないように運転スケジュールを調整します。

② 新規顧客獲得と固定客のリピート率を向上させます。

ア.居宅介護事業所や病院・クリニック、薬局などにPRを行い、新規顧客の確保に努めます。

イ.Facebook等を利用し、ご利用者様に分かりやすい情報を伝えます。

(2) 収入予測

平成 29 年度収入予測 1,634,400 円 (平均 13 万 5 千円/月)

利用者 年間目標延べ人数 480 名

利用者 月間目標延べ人数 40 名

8)障がい者福祉サービスゆみと

(1) 目標、実施要領

《目 標》

日々の作業を通じて、社会参加への意欲の向上を図り、一般就労を目指し、支援していきます。

(目標の背景)

社会的孤立を防ぐためには、人々が集まる場が必要です。就労継続支援事業を通して、働く意欲を高め、社会参加に繋げていかなければなりません。

今年度は、大葉選別作業等の他に、外部からの請負業務を増やし、実際の仕事に携わることにより、勤労意欲の向上とそれによって得られる喜びを共有し、働き甲斐を身に着けられるよう支援します。

(実施要領)

① 作業の選択肢を増やし、その人に合った作業を提供します。

ア. 請負、委託業務の受注数の増加

イ. パソコン業務等の受注の増加

② 一般就労に向けたトレーニングを実施します。

ア. 朝礼や終礼の励行

イ. 挨拶訓練の実施

(2) 収入予測

平成 29 年度収入予測 8,461,267 円

就労継続支援 (A 型、B 型) 利用者 目標人数 8 名

相談支援利用者目標人数 2 名

9) 放課後等デイサービスのぞみ

(1) 目標、実施要領

《目 標》

障害児の自主性を尊重し、保護者・学校等と連携を図り、日常生活を行う能力の向上や自立的に行動できる能力の向上を支援していきます。

(目標の背景)

放課後等デイサービスは、子どもたちの出来ることを伸ばし、出来ないことを出来るようにする支援が必要です。

本年度は、事業開設年度として、運営の準備を図るとともに安心して利用できる環境を整え、自主性を重んじ、障害児の能力の向上を支援するとともに、保護者や関連機関との連携を強めていきます。

(実施要領)

- ① 安心して利用できる環境の整備
 - ア. 障害児に合わせた個別プログラムの整備
 - イ. 個別活動や集団活動に必要な備品の整備

- ② 保護者及び学校等関連機関との連携

(2) 収入予測

平成 29 年度収入予測 5,485,140 円

放課後等デイサービス利用者 目標人数 5 名

各種委員会等

委員会

職員が資質向上、課題解決能力を高めるために、下記の委員会を設置し、活動を行います。

名 称	目 的	内 容
安全推進委員会	利用者の安全確保及び事故防止	①インシデント・ヒヤリハット対策 ②身体拘束廃止・虐待防止 ③感染症対策
教育委員会	職員の資質向上	①接遇、マナー意識の向上 ②法人内研修、企画運営
広報委員会	法人広報	①広報誌の発行 ②ホームページ、SNSの更新 ③パンフレット作成
業務改善・法人研究委員会	職場環境の改善、業務改善、事業発展の研究	①職場環境、業務改善 ②事業発展に関する調査、研究
キャリアパス委員会	キャリアアップシステムの運営	①キャリアパスシステムの運営

実行委員会

法人行事である、のぞみ祭り、歌声喫茶、新年もちつき大会について、委員会以外に実行委員会を開設し、全職員で一致団結して取り組みます。

実行委員会：のぞみ祭り実行委員会、歌声喫茶実行委員会、新年もちつき大会実行委員会

その他

有料老人ホーム二の郷、デイサービスセンターほのぼのにおいては、利用者の食事について、給食会議を開催します。

研修計画

法人全体

当年度は、各事業所が経営意識を持ち、部門別で採算管理を行う仕組みを構築し、経営意識を持ったリーダーを輩出できるよう研修及び教育の充実を図ります。

また、事業所間において、相互に学び、事業所間の連携を深める、相互研修を実施致します。
引き続き笑顔で明るい挨拶に力を入れ、接遇及びマナーの向上に努めて参ります。

各事業所

各事業所においては、技術・知識・倫理性等を高めるために1ヶ月に1回研修会やe-ラーニング等を実施し、各事業所職員の資質向上に努める。